

# JAMCA ジヤムカ ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.42

2004年7月1日

発行  
協会事務局

全国自動車整備専門学校協会

〒160-0015 東京都新宿区大京町31

ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066

〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3

☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988

ホームページアドレス <http://www.jamca.jp/>

編集事務局



## 教育システムと一級整備士養成課程

広島工学院専門学校理事長  
広島自動車整備専門学校理事長  
全国自動車整備専門学校協会理事

古澤 敏昭

国立大学の独立行政法人化が2004年度からスタートした。大学教員は民間企業との共同研究も自由化され、大学は社会に対して大きく門戸を開き、地域社会に貢献することになった。

### 学生の資質や能力が多様化

大学組織で見ると、国立大学、私立大学をはじめとする学校経営の見直しや、魅力ある学校づくりなど議論は今後においても益々活発化する。その背景には社会の価値観に大きな変化があることを知らなければならない。

多様化し続ける学生の資質や能力に対応するためにも、充実した教育システムの構築が必要である。でないと、変貌する時代から遠ざかることになる。お客様から見れば何の魅力も感じない。本質を追求し時代の要求に応えることが必要である。したがって教育システムは科学の進歩により時代とともに変化する。

### お客様に満足を与えるには

学校教育の立場から考えると、お客様は入り口の学生と、出口の就職という企業サイドである。お客様の顔には二面性がある。一般企業と同様に学校も学校間競争の上に成立している。したがって我々はお客様に満足を与えるにはどのようにすべきか、お客様は何を求めているのかを常に課題として、マーケティングの発想で自問自答し続けなければ、専門学校の発展を望むこ



とはできない。お客様と共に成長するという考えに立って始めて「専門学校の教育とは」の解答につながってくるのである。

自動車整備に関する学校には、専門学校以外に自動車短大があり、近年、工業大学でも自動車学科が増設されている。そこで、専門学校がいかなる戦略をもって対抗すべきかを、皆様と一緒に考えてみたい。差別戦略をもって対抗するのか等々、そこで組織的にどのような発想で、いかに対応すべきかを、貴方は考えたことがありますか！

まだ自覚していないのではないかと、投石してみたいと考える。

幸いにも、一級整備士養成の修学期間を、JAMCAが万難を排して2年課程とし、通年4年間で一級整備士受験資格を取得できる画期的な教育システムを作り上げたことを知る必要がある。このことは、JAMCAの統一見解の思想である整備士の社会的地位の向上と、大学で学習する以上の内容の技術を付与し、人間性の向上を目指し、社会から認められる人間像を目標とし

ていることも、自覚しなければならないと考える。

### 環境に順応して変化

期待して求める一級整備士の人間像は、習得する技術レベルは無論のこと、一般教養についても、JAMCA統一テキストの開発による即戦力になりうるレベルのみでなく、学生が将来において他産業で活躍できる人間像まで想像していることを知っていただきたい。

そこで我々は一級課程を持つことによって、教員と学生が一体となって成長するという考えでないとステップは歩めないといえる。誰も経験が無い所からスタートする。だからスバラシイのである。新しいものの積み上げで成果が出てくる。未来に向かって突き進むという使命感で臨まなければ、進化し続けるクルマに対応できなくなる。人間のスバラシイことは、変化し続ける環境に順応し、変化してきたことである。

皆様！我々も環境に順応し、人間として成長し続けようではありませんか。

### CONTENTS

2面	OPINION
3面	我が校自慢
4・5面	一級課程在籍者の 将来の夢
6面	協会トピックス
7面	活躍卒業生・地区通信
8面	私の教材活用・編集後記